

令和4年度 小金井市立小金井第二中学校学校経営方針

学校の目的（社会に対する役割）は、「良き社会人」の育成である。「良き社会人」として、自分のもてる力を最大限に発揮することで社会に貢献し、社会の一員として活躍することができる人、さらには、そのことに喜びを感じる人（自己実現）ができる人の育成を図る。また、学校という集団は、人と人との関係で成り立っており、民主的で自治力のある「正義の通る集団」を育成することが、良き社会人の育成となる。

【めざす学校像】

- すべての生徒が心の居場所をもち、安心・安全に生活できる学校
- 自治力があり、正義の通る集団としての学校
- これからの社会で活躍できる力を育む学校
- 学校・家庭・地域がともに協力し、生徒を育てていく学校

本校教育目標【めざす生徒像】

- 社会の一員としての自覚を高め、豊かな創造力と実践力をもった人間の育成を目指して
- 自他を認め、支えあう生徒
 - すすんで学び、考え、行動する生徒
 - 心身を鍛え、たくましく生きる生徒

【めざす教師像】

- 組織の一員として、学校の目的のために、使命感をもって取り組む教師
- 生徒理解力、授業力の向上を常に目指して自己研鑽に励み、生徒の一人一人の「その子らしさ」を伸ばすための努力を惜しまない教師
- 生徒・保護者や地域社会の期待に応え、信頼される教師

【本年度の取組目標と方策】

（1）学力向上に関する取組

- ①生徒に身に付けさせたい力を明確にし、生徒自らがその達成度を判断し、課題に基づいた学習の充実を図るための工夫を行う。
- ②「主体的・対話的で深い学び」を実現できる授業を工夫・実践することで、「わかる・できる・活かす」力を育成するための授業改善を推進し、授業力の向上を図る。
- ③生徒一人1台のICT端末を活用した授業を工夫して個別最適な学びや協働的な学びを推進することで、生徒が自ら学びを調整し粘り強く学習に取り組む態度の育成を図る。
- ④ 学力に課題の多い生徒に対する支援体制を整え、その伸長を図る。
- ⑤ 新学習指導要領を見据えた教育活動の充実を図る。

（2）集団の育成及び社会性を育む取組

- ①生徒会活動や学級活動などにおける自治的活動を通して、集団としての意識の向上を図り、正義の通る集団の育成を行う。
- ②特別活動、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間の取組を充実させ、勤労観・職業観の育成を図る。
- ③社会における課題を「自分事化」する教育活動を充実させ、主体的に社会に関わる態度の育成を図る。
- ④基本的な生活習慣の定着を図り、特に挨拶ができる生徒の育成を行う。
- ⑤不登校・いじめの未然防止、早期発見、早期対応への組織的取組を行う。

（3）特別支援教育の充実

- ①特別支援教室と連携し、通常学級における特別な配慮を要する生徒への支援の充実を図る。
- ②特別支援学級の進路指導の充実（就労）を図る。
- ③特別支援学級の生徒と通常学級生徒との交流活動を計画的に進め、生徒相互の理解を図り、互いに支えあいながら共に暮らす地域社会の実現に取り組む。

【具体的教育活動（抜粋）】

学習指導

- 各教科
- 授業において「何ができるようになるか」を明確にした到達目標の提示と振り返りの実施
 - 主体的な学びに結び付く個別最適な学びと、対話的な学びとしての協働的な学びを充実させるための、生徒一人一台のICT端末の効果的な活用方法の工夫・推進。また、ICT活用により創出された時間における深い学びにつながる学習活動の実施。
 - 体験的学習や基礎的・基本的な知識・技能を活用した問題解決的な学習による、生徒が自ら考える授業の実施

特別の教科 道徳

- 道徳的諸価値に根差した問題について、「考え、議論する」道徳の実施。

総合的な学習の時間

- 実社会・実生活から自ら進んで解決していこうとする課題として、小金井市気候非常事態宣言を受け、持続可能な開発目標（SDGs）を大テーマとした探究的学習の実施。

生活指導

- 基本的な生活習慣の確立、ルールを守る心、自主的・自律的な態度の育成。特に、「挨拶」「時間」を重点項目とする。
 - 課題解決を図る学級活動の充実、主体的な選択とよりよい自己決定を促すガイダンス機能の充実
 - いじめ防止のために、ふれあいアンケート(年6回実施)や面談、日頃の指導（特別の教科 道徳の授業、他）の実施。
 - 「小金井市子どもの権利条約」に関わる授業の実践
 - 避難訓練やセーフティ教室、薬物乱用防止教室、防災訓練、ネット・ケータイ安心講座の実施。
 - スクールカウンセラー等の活用や教育相談の充実
- ### 進路指導
- 1年生の「身近な人の職業調べ」、2年生「職場体験」、3年生「上級学校の授業体験や学校訪問」などの体験的学習、多くの職業人から話を聴く「人生の先輩に学ぶ会」の実施
 - 生徒が、自分の道は自分で切り拓くことができるようにキャリアパスポートを活用
 - 3年間を見通した年間指導計画を作成し、これに基づき、学年ごとに指導内容の具体化を図る。

学級活動

- 第1学年での小集団でのリーダーの育成、第2学年、第3学年での学級リーダーの育成を通じた集団の育成および、役割と責任を明確にした指導の実施。
 - 学級活動における課題解決のための話し合い活動を数多く設定
- ### 生徒会活動
- 委員会活動を通して、「自分たちの学校は自分たちで良くする」という意識の醸成による生徒の自治的な活動
 - 小金井市非常事態宣言を受け、生徒会活動等による「ハチドリプロジェクト」の取組
- ### 学校行事
- 生徒自らが、学校行事を組織的・計画的に立案できる場面の設定。
 - 日頃の学級指導の成果を活かした行事の取組ならびに行事の成果を学級指導に活かす工夫の実施。
- ### 部活動
- 部活動を通して、技能が向上することの楽しさや喜びを味わい、豊かな学校生活を送ることをねらいとして実施。
 - 生徒の自発的・自主的な活動。